

**横浜ビジネスグランプリ 2022~YOXOアワード~ファイナル**  
**最優秀賞 株式会社プラントライフシステムズ 松岡孝幸さん**

『**数理モデル技術を利用して農業を農事業へ**』

＜必見・視聴者募集＞2/25(金)から28日(月)まで

11名のファイナリストの熱いプレゼンをオンライン配信します

令和4年2月19日(土)「横浜ビジネスグランプリ 2022~YOXOアワード~」ファイナルを開催しました。ファイナリスト11名がプレゼンテーションを行い、最優秀賞は「数理モデル技術を利用して農業を農事業へ」株式会社プラントライフシステムズ 松岡孝幸氏に、また、一般部門優秀賞、学生部門優秀賞、女性起業家賞の各賞が決定しました。

今年は感染症防止の観点から、完全オンラインの実施となったため、当日の様子を2/25(金)から28日(月)までオンラインで配信します。IDEC横浜のホームページから

(<https://www.idec.or.jp/business/venture/ybg-final-2022.html>) 申込できますので是非この機会にお見逃しなくご視聴ください。

【横浜ビジネスグランプリ 2022~YOXOアワード~ 受賞者】 (敬称略)

賞	受賞者	所属	プラン名と概要
最優秀賞 (賞状・副賞 100万円)	松岡 孝幸	株式会社プラントライフシステムズ	「数理モデル技術を利用して農業を農事業へ」 自動車産業で蓄積した数理モデルのノウハウを駆使し、農産物の収穫量最適化や特定機能強化作物の生育を支援します。
一般部門優秀賞 (賞状・副賞 30万円)	久保田 大介	Life Analytics	「遠隔・解析用 Web アプリケーション」 研究・検査用の機器を遠隔操作・取得したデータを解析する Web アプリケーションでホームオフィスでのパーティクルラボ・検査を実現して企業・機関の生産性を向上します。
学生部門優秀賞 (賞状・副賞 10万円)	栗本拓幸	慶応義塾大学	「参加型プロジェクト共創プラットフォーム活用によるコンサルティング」 主に自治体を対象にオンライン参加型プロジェクト共創プラットフォームとして、自治体と市民の双方に働きかけ、市民と自治体が協働して地域課題に取り組む「場」を提供します。
女性起業家賞 (賞状)	関 芳実	株式会社 Stock Base	「Stock Base」 災害備蓄品、その他ノベルティなどの物品を有効活用したい企業と、受取団体をマッチングするプラットフォーム型事業を構築することで、廃棄物の削減に貢献します。

主催 公益財団法人横浜企業経営支援財団 (IDEC 横浜) 共催 横浜市経済局

後援 関東経済産業局、公益財団法人神奈川産業振興センター、公益財団法人川崎市産業振興財団、  
 公益財団法人相模原市産業振興財団、公益財団法人湘南産業振興財団、日本政策金融公庫 横浜支店、  
 横浜銀行、神奈川銀行、きらぼし銀行、横浜信用金庫、川崎信用金庫、城南信用金庫、横浜市信用保証協会

お問合せ先

公益財団法人横浜企業経営支援財団 経営支援部長 川北 彰子 TEL 045-225-3714

裏面あり



最優秀賞の松岡孝幸 氏

審査員長  
株式会社アルテサロンホールディングス  
吉原会長による総括

<一般部門ファイナリスト>

No.	プランタイトル	会社名・屋号	応募者名
1	冷凍パンで横浜を元気に、「時をとめるベーカリー」	株式会社ハットコネク	中島 慶
2	遠隔・解析用 Web アプリケーション	Life Analytics	久保田 大介
3	インフラに依存しないトイレ洗浄水循環システム	株式会社 e6s	高波 正充
4	StockBase	株式会社 StockBase	関 芳実
5	横浜から世界へ!Online 医学教育 System	株式会社テレメディカ	藤木 清志
6	全製造に DX を 3DPC プラットフォーム	株式会社 3D Printing Corporation	古賀 洋一郎
7	地域包括ケア推進サービスオンライン薬剤師	株式会社 HealthCareGate	保田 浩文
8	数値モデル技術を利用して農業を農事業へ	株式会社プラントライフシステムズ	松岡 孝幸

<学生部門ファイナリスト>

No.	プランタイトル	学校名	応募者名
1	音声型観光ガイド・情報サービス「ぐるり」	横浜国立大学	中野賢伸
2	レザーとペットフードでいただきます。	横浜国立大学	渡辺洋平
3	参加型プロジェクト共創プラットフォーム活用によるコンサルティング	慶応義塾大学	栗本拓幸

【横浜ビジネスグランプリ～YOXO アワード～とは】

横浜で新たな価値を創造するような製品・サービスの提供を目指す起業家やベンチャーを発掘し、IDEC 横浜の支援メニューを最大限に活用しながら横浜市内における起業・創業を促進するビジネスプランコンテストです。

今回は全国から一般部門 64 件、学生部門 30 件の合計 94 件の応募があり、選考を通過した一般部門ファイナリスト8名、学生部門ファイナリスト3名がプレゼンテーションを行いました。

IDEC 横浜ではこの事業を平成 15 年から開催し、今回で 24 回目となります。